

札幌市内10区、84.6万部発行のフリーペーパー



ふりっばー

No.112号
札幌白厚版
2015

10月号

無料 ¥0

いつも届いていたのに今月は届いていないなどの場合、ぜひご連絡をお願いします。

札幌市白石区・厚別区・中央区(創成川より東の地域)・江別市大麻地区にて無料戸別配布



秋の魚特集

ザ★秋カレー [P10]

魅惑のイタリアン特集 [P18]

しろいし
まもしろい誌

[P04]



白石区内限定配布 ページあります
(厚別区、中央区、江別市配布分を除く)
白石区の魅力を発信していきます!



フォロー絶対賛集中!!



「いいねしてね!」
「地域新聞ふりっばー」

広告のお申し込み・お問い合わせは

総合商研株式会社 ふりっばー編集室

☎ 0120-22-7850

[フリーダイヤルは、携帯電話からご利用になれませんのでご了承ください]

▼携帯電話の方は、こちらをご利用ください

011-780-5703

080-1889-2864

白石厚別版は
18.0万部発行

配布エリア/白石区・厚別区・中央区
(創成川より東の地域)・江別市大麻にて
175,250世帯に無料配布。

一部マンションなど配布できない場所があります。
3,820冊はご協力店様に置本。

846,790部発行

(札幌北東版23.6万部、札幌南版22.5万部、札幌西版20.5万部)

ふりっばーweb
会員募集中!!



このフリーペーパーは、環境負荷を少なくするために、植物性インキを使用し、回収率を高めない「水なし印刷」方式を用いた、地球にやさしい印刷物です。「水なし印刷」で印刷できるのは、北海道で当社だけです。



このフリーペーパーの用紙は環境への負担を低減するECF/ハルバ(無塩素漂白)を使用しています。

しろいし まもしろい誌

SHIROISHI WARD
COMMUNITY PAPER

地域新聞 **ふりっばー**

発行/札幌市白石区役所市民部地域振興課
札幌市白石区本郷通3丁目北1-1
TEL011-861-2422
FAX011-861-2775
編集・印刷/総合商研株式会社
取材協力/北海道札幌白陵高等学校
発行/2015年9月

白石区民のための情報誌 vol.7

ふりっばーWEB上の「おもしろい誌イベント情報」でも記事を見ることができます!
おもしろい誌

白石の職人

札幌白陵高生が行く

をさがせ!

第2章



2015
10 TAKE
FREE

SHIROISHI
ARTISAN

寺社建築

秋の爽りに感謝! 菊の里収穫祭

菊の里地区の農家さんが丹精込めて栽培した「白石区産まれ」の野菜や果物を販売します!地元で採れた新鮮でお手頃価格の野菜を求め、たくさんの方が来場するお祭りです。

そのほか、飲食コーナーでは、おでん・焼きそば・豚汁などこの季節に味わいたいメニューを販売。心も体もほっこりと満たされますよ!



秋を楽しむイベント情報

開催日時

平成27年10月25日(日)10時半~13時
※各コーナーは品物が売り切れ次第終了

会場

菊水元町南町内会館
札幌市白石区菊水元町7条2丁目6-5

前売り券の販売

○料金:前売り券1枚1000円(50円
のフレミア付)を限定1000枚販売
※当日券もあります

○期間:10月13日(火)~23日(金)

※土・日を除く8時45分~17時15分

○場所:菊の里まちづくりセンター
白石区菊水元町8条1丁目11-1

主催

菊の里連合町内会

問合せ

菊の里まちづくりセンター

011-8771-2355



ガラス製のトランペット。音程を変えることはできなくても、音は出せるそうです「お金にはならなくても、作るのが楽しくてね(笑)」

2,000℃を超えるバーナーを使って ペンダント作りを 体験!

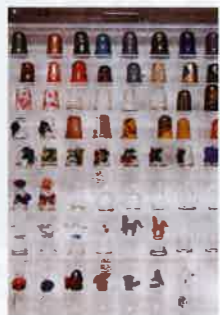
透明のガラスと色の付いたガラスを組み合わせたペンダントトップ製作を体験させてもらいました。1本のガラス棒から球を作り、細い色ガラスの棒を巻きつける…と難しく簡単そうですが、水あめのように柔らかく、手で触れないので扱いが難しい!職人の技を身を持って知ったメンバーでした。



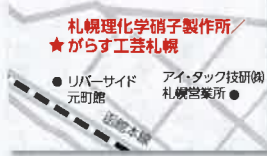
- 1 バーナーの「ゴッー」という音だけでやや及び腰です
- 2 全員、出来上がりがそれなりにキレイなのが不思議。これがガラスの可能性!



バーナーで棒やパイプ状のガラスを熱して、柔らかくなったところで曲げたり延ばしたり、接合したり



陶器製が一般的なシンプル(指ぬき)。ガラス製は珍しく、国内では唯一の製造メーカーです



札幌理化硝子製作所/
がらす工芸札幌
札幌市白石区菊水元町1条1丁目1-20
9:00~17:00
土・日曜、祝日 あり
☎011-871-4273



職人の道具 拝見!

使い込まれた道具の数々。直接手で整形できないから、多くの道具が並んでいました



炎とガラスから生み出す 技の結晶

ガラス職人
[札幌理化硝子製作所/がらす工芸札幌]
藤岡幸雄さん

「長年技を磨き続けているけど、職人としてはベレーだよ」と笑いながら語ってくれたのは、ガラス職人歴56年の藤岡幸雄さん。コマ数ミリの精度が求められる大学などで使う研究機材や実験器具の製造をしており、今ではこれを作るのは北海道で藤岡さん唯一。宇宙ロケットのガラス部品も手掛けた卓越した技術を活かし、17年前からアクセサリーや楽器などガラス細工工芸品も手掛けています。

「形のないものを形にするのが腕の見せどころで、この仕事の面白いところ。ガラスには無限の可能性があるよ」。バーナーの炎にガラス管をかざすと、鮮やかな手つきで小さなワイングラスを造り出しました。16歳の時に人と違う仕事があった」とガラス職人の道に飛び込み、「絶対に手を抜かず、与えられた仕事をやり遂げ、使い手に喜んでもらえる製品を造る」と今でも信念は変わりませんが、その眼は先を見据えています。「自分の培ってきた技術を若い世代に伝承したい。その目標があるから長生きできる」。



畳表を機械で縫いつける作業。機械だとかっちり仕上がりが、大広間など平坦さが求められる場合に向きます。一方、手縫いは柔らかな仕上がりが特徴

2枚の畳を合わせた時の畳縁の図柄がピッタリとそろるように、縁の縫い付け・畳敷き作業とまさに職人技の見せ所



ヘリを手縫いする作業を体験。20cmほどもある縫い針を分厚い畳床に通し、体全体を使って糸をギュッと締め付け、という工程を繰り返す重労働でした



職人の道具 拝見!

職人として必要な資質を「自分に向き合い、根気良く、まじめにやるべきことをできる」と語る柴田さん



たたみ工房柴田
札幌市白石区北郷5条5丁目4-14
9:00~17:00
日曜、祝日 あり

☎0120-530-593



畳職人
[たたみ工房柴田]
柴田卓哉さん

「自分の理想のお店、国産の良質なイグサにこだわったかった」。熊本県産イグサの香りでいっぱい工房で創業の理由を話してくれたのは、職人歴18年の柴田卓哉さん。国産にこだわる工房は道内ではここだけの稀有な存在。国産イグサは中国産に比べ、価格は倍でも耐久性は3倍以上、しかも無着色のため畳本来の香りがするのだそうです。

「将来は北海道全域をカバーし、国産畳の魅力を広めたい」と若き職人ならではの熱い意気込みを語ってくれました。

白石の職人をさがせ!

第2章

大正期から昭和中期にかけて工場が立ち並んでいた、白石の象徴は「ものづくり」。今も昔も、ものづくりを支えるのは職人の「技」。脈々と受け継がれる白石の職人魂に、札幌白陵高校の面々が迫りました。

しろいし秋のイベント

11/3開催
白石すこやかフェスタ2015

区民の皆さんの健康づくりを目的としたイベント「白石すこやかフェスタ」を開催します。健康づくりに関する各種相談や、無料試食、ニュースポーツ体験などのコーナーを用意しています。企業のサンプル品提供、親子でホットタイムコーナーでの子育て相談などもあります。

会場内ではスタンプラリーを行いますので、友達同士やご家族で楽しみながら各ブースを巡りましょう。参加は全て無料です!お気軽にお立ち寄りください。

開催概要
日時/11月3日(火)祝10時~15時
参加料/無料
会場/札幌コンベンションセンター大ホール
(白石区東札幌6条1丁目)



白石すこやかフェスタ2015 ピックアップ イベント

健康づくりコーナー

- 体内年齢測定などの「健康チェックコーナー」
- 試食もできる「食生活改善展」
- 絵本の読み聞かせなどの「親子でホットタイムコーナー」

白石区なわとび大会

参加者募集中!

- 種目
① 大なわとび (1チーム・10名以上、小学生は7名以上)
② 親子とび (幼稚園児、保育園児、小学1~2年生)
③ 二重とび (小学生)

- 申込期間/10月9日(金)まで
- 申込&問い合わせ先/白石区地域振興課 ☎861-2422
- ※なわとびのロープは各自持参してください。

ニュースポーツコーナー

- 「スポーツチャンバラ」に「キンボール」など
- ニュースポーツ10種類が体験可能!

問い合わせ先

- 健康づくりコーナーのことは 白石保健センター ☎862-1881
- なわとび、ニュースポーツのことは 白石区地域振興課 ☎861-2422



桂皮(けいひ)、芍薬(しゃくやく)などなんとなく聞き覚えのあるものから、読み方すらわからないものまでズラリと並ぶ生薬



職人の道具
拝見!

生薬をすりつぶすための道具「薬研」。右の写真のように、円盤状の「薬研車」に木製のハンドルを通して使います。用途によって、現役で活躍しています



お客さんによっては、粉末状になって調合された漢方薬と生薬を組み合わせて処方することもあります



健康に対する思いから人生訓まで、熱く語ってくれた中村さん



中村薬局
 〇札幌市白石区南郷通7丁目北5-1
 〇8:00~18:00、土8:00~13:00
 〇日曜、祝日
 〇あり

☎011-861-2808



「治す」より
「病気になるらない体」を

薬剤師
[中村薬局]

中村峰夫さん

「病院で治せない病気を治したい」。そう語るのは、中村薬局の中村峰夫さん。店頭には見たことのない名前の漢方薬や難しそうな本がたくさん並んでいます。ここでは、お客さんの体調に合わせて、100種類もの漢方薬などを処方するほか、食生活のアドバイスなどもしています。「薬で病気を治すより、病気になるらないことが大事。そのためには食事が重要なんです」。病気が治った患者さんに、今後、病気になるらない体を作ってもらいたい、人との縁を大切に生きてきたことが、数ある薬局の中で生き残ってきた秘訣とい

えるでしょう。現在、北海道大学で臨床教授も務める中村さんは、大学病院で治せなかった病気を次々と快方へ導き、天狗になった時期もあったといいます。しかし、何が自分にとって大切かと考えたときに、「地位や肩書きよりも、人に感謝されることだ」ということに気づき、今の自分があるといっています。漢方薬がなぜ体にいいのかわかりたくて研究を始め、「漢方と食べ物がよく似ている」と思ってから5年前から食物の性質を知るために余市で農業を始め、3年前からは、オーガニック野菜などを扱うお店を中央区伏見にオープンさせ、「病気になるらない体づくり」に力を入れています。「目標は、日本の医療費を半減させること。体を丈夫にし、薬を飲まなくて済む国にしたい」と、人の健康を継続的に支えたいという強い信念を持って、今日も訪れるお客さんの声に耳を傾けています。

編集後記

白陵高校の有志が、それぞれ個性のある4社にご協力いただいた今回の取材。「こだわり」を感じさせる仕事、私たちの地元白石に色濃く残っていることに、新鮮な驚きを感じました。札幌を支えているのも、そんな仕事に熱い情熱を持つ人々なのだ、と気づかされました。

「大学に進学しようと思っていたけれど、手に職を持つとまた違う世界が広がる、と思いました」「職人への道は長いが、お客様に喜ばれたときに、下積み時代の辛い経験も報われるのだと思いました」「今後、自分の仕事を決めるうえで、とても視野が広まりました」と、私たちがそれぞれに強く感銘を受けた今回の経験でした。



「ここが職人技!」
仕口(しぐち)という木材を組み合わせるための切り欠きをノミを使って作ります。もっと複雑なカタチももちろん手作業で



職人の道具
拝見!

(上)木村さんが見せてくれた、手工具の数々。カンナひとつ取ってみても、Rのついたもの、逆Rのついたもの...とさまざま
 (下)「墨壺」という、木材に墨線を印すするための独特な道具は、職人さん各々で自作。彫刻など、凝った意匠が施されています



重厚な躯体や古材を駆使した柱や梁など、宮大工の技を生かした同社ならではの住宅



木の性質を知り尽くし、特性を生かした使い方をするのが宮大工。年輪を見て、どちらが根元側か、どちらが表かを判断します



50年以上の職人歴を持つ木村紀昭棟梁。「職人に必要なものは根気と忍耐力、そしてつねに勉強」



北一タカハシ建設
 〇札幌市白石区東米里2058-42
 〇8:00~18:00
 〇日曜
 〇あり

☎011-872-6640

廃材を無償提供!
 同社では、工場を出た端材や建物の解体で出た廃材を無償で提供しています。どんな木材があるかはそのときどきで変わりますが、薪材やDIYの素材を探している人にはうれしいですね。冬場は工場の薪ストーブ用に使っているので、引取りは10月末まで。



宮大工
[北一タカハシ建設]

釜石瞬典さん

「本物」を造り上げる若き棟梁

「本物の建物は、時間がたつても価値を失わない。家は資産にしたいかない」と。そう語るのは、北一タカハシ建設社長の高橋一彦さん。寺社建築を手がける宮大工集団にして、瓦屋根を葺ける職人を擁する道内唯一の会社です。「20代で学び、30代で実践、40代でもできるような」と高橋さんが言うほど、長い修行年数を経て一人前になる宮大工の世界。同社には9人の職人が在籍し、平均年齢は30代。イメージとは裏腹に、若い世代を積極的に育て、その力が会社を担っています。子どものころから大工になる

のが夢だった若き職人、釜石瞬典さんは「早く、何も聞かないで仕事ができる職人になりたい」と言います。その真意は、高橋さんの言葉のなかにありました。「わからないことは必ず聞けと言っている。わかったフリがいちばんダメ」。そして「若いうちからチャンスを与えて磨きをかけて、大工の夢を持った若い職人のためになりたい」とその背中を押します。実際に釜石さんは、昨年からは青森県にある寺の建替え工事を任されていて「他社にはない大きな仕事ができる今の仕事を楽しんでいる」と熱く語ってくれました。

「かぼちゃスイーツ」教室開催
 〇日時/10月30日(金)10時半~13時半予定
 〇料金/無料(予約金持参) 〇定員/先着10名様
 〇申込み/10月20日(火)までにお電話にて
 〇受付/9時~19時、土日祝9時~17時まで

フレアスト東ふれあいスペースとは
 最新ガス機器を体感できるうえ、調理器具や食器も備えたスペースが無料で使えます! 地域の町内会や趣味の仲間と一緒に、料理教室や会合など、交流の場として利用できる素敵な空間です。
 また、隣接して最新テーブルコンロをはじめ、エコジョーズなど幅広い商品が展示され、「見て」「触れて」「キッチンのお悩みを解決するシヨールーム」もあります。

北ガスフレアスト東株式会社
 〇札幌市白石区平通14丁目北1-23
 〇9時~19時(土・日祝17時)
 〇011-865-2010

〇利用可能時間/10時~16時
 〇利用料/無料
 〇用途/料理教室、ミーティング、勉強会など
 〇人数/15名程度※事前申込が必須。連絡先は左記参照